

久世だんじりの歴史

年	主な出来事		だんじりの変遷				
			祭衣装	だんじり御祭礼巡行コース	喧嘩場	だんじりの突き(鉄板)	
江戸期	元禄元年 元禄4年	1688年 1691年	元禄元年、天神橋が石橋で架設。				
	元文元年 江戸後期	1736年	大雪のため山久世八幡神社が岐呂峠を越せず不参加。以降、四社御祭礼となる。 「担ぎだんじり」として、上王社・中央社・朝陽社・東明社創建。	着物で足袋に草鞋履きが主流だったと思われる。	担ぎだんじりの出発地点は上町上りで、旧出雲街道を真っ直ぐ東へ上町・中町・下町を進行し、終点は天神橋と思われる。		
	天保13年	1842年	津山藩御中御条目中「壇民久世武寸」出すことを許す旨の記載あり。				
	明治9年 明治29年 明治34年 明治37年	1876年 1896年 1901年 1904年	中川橋(土橋)完成。 久世村が久世町へ。 山久世が鶴山町へ。 川南村が久世町へ編入。				
大正期	大正10年 大正12年 大正13年	1921年 1923年 1924年	だんじりが四輪馬車に乗る。 惣八幡神社が加わり「五社御祭礼」となる。 西観社創建。 作備線(姫新線) 久世駅開業。	ほとんどの青年が辰袴神姿で足袋に草鞋履き或いは雪駄履きで、顔を白塗りするだんじりがあった。	だんじりは御祭礼終点の天神橋手前でJターンしていた。		突きの突先に鉄、突きの側面には引き戸用かまぼこ型レールやブリキ、鉄の板を要所に取り付けける。
	昭和3年 昭和5年 昭和16年 昭和20年 昭和29年	1928年 1930年 1941年 1945年 1954年	榮朝社創建。 中川橋が鉄筋コンクリート造に。 東明社・榮朝社が出る。 中国電力湯原第二発電所(黒尾)運用開始。				突きの鉄供出。 昭和20年代後半、突きの突先に鉄、突きの側面にトロコロールや鉄板を要所に取り付けける。
	昭和31年 昭和32年 昭和33年 昭和34年 昭和35年 昭和36年 昭和37年 昭和39年	1956年 1957年 1958年 1959年 1960年 1961年 1962年 1964年	「模範会」が仮行列を出す。 「商工会」が仮行列を行う。 「模範会」が仮行列を出す。 「だんじり喧嘩」に立会人が出る。 危険防止で突きを撤去。 「模範会」が仮行列を出す。 子供神輿五組が登場。 西観社と榮朝社が出る。 立会人負傷事故で「だんじり喧嘩」中止。 子供神輿六組となる。	昭和30年代頃から社名社紋が入る法被を着るようになり、御祭礼巡行時、だんじりに乗る青年は辰袴神姿に化粧を施し、雪駄履き、長袴袴を着ない青年はお腹に晒を巻き法被を着て雪駄履きが多かった。	昭和35年頃、御祭礼巡行コースは更に東の船町を進み、久世町役場前まで伸びる。		
昭和40年 昭和43年 昭和44年 昭和45年 昭和46年 昭和47年 昭和48年 昭和49年	1965年 1968年 1969年 1970年 1971年 1972年 1973年 1974年	「だんじり喧嘩」復活。突きを装着。 久世中学校校舎落成。中町アーケード完成。 都市計画道路中央線舗装。 中国銀行久世支店前信号機設置。 中川橋歩道橋完成。 中央公民館落成。下町・上町アーケード完成。	昭和40年代頃から、御祭礼巡行時、子供連も化粧を施す。				
昭和50年 昭和51年 昭和52年 昭和54年 昭和55年 昭和56年 昭和57年 昭和58年	1975年 1976年 1977年 1979年 1980年 1981年 1982年 1983年	国道313号線バイパス(久世大橋)開通。 中町商店街カラータイル舗装に。 国高社参加。 6社だんじり車庫が栄町に移転。 本祭り「だんじり喧嘩」で死亡事故。 裏祭り「だんじり喧嘩」中止。 「だんじり喧嘩」中止。 ふるさと列車来町。早川代官前で「だんじり喧嘩」を復活。「だんじり喧嘩」復活。 若王社参加。		本・裏祭りとも「駅回り」コースに変更。本祭りで中央社のみ従来の真っすぐのコースを運行。		昭和40年代、突き全体が鉄板で覆われる。 昭和50年代、突き側面のトロコロールを宮欄に取り付ける。	
昭和61年 昭和63年	1986年 1988年	中央社再建。 中央社と朝陽社が「瀬戸大橋博」に出演。 上王社・朝陽社が新調。 宵祭り・本祭りをい、裏祭り自粛。		本祭り、従来の真っすぐのコースが復活。		昭和後期以降、突きの突先は鋼鉄材が使われ、突き側面要所の溶接を固くする。	
平成期	平成元年 平成2年 平成3年 平成4年 平成5年 平成6年 平成7年	1989年 1990年 1991年 1992年 1993年 1994年 1995年	泉朝社参加。 いずみ橋完成。 遷喬小学校が移転。 「久世だんじり保存会」発足。 西観社と朝陽社が「真庭特産フェア」に出演。 新上社参加最終年度。 上王社と東明社が「岡山桃太郎祭り」に出演。 麗新社参加。 惣高社・若王社・泉朝社が「だんじり喧嘩」に参加。		本祭り従来の真っすぐのコース、裏祭り「駅回り」コースとなる。 本祭り御祭礼出発前のだんじり待機場所を久世大橋から西へ。		3対戦を早川町、4対戦目以降は現喧嘩場。 3対戦を早川町、4対戦目以降は現喧嘩場。 若王社対惣高社・若王社対泉朝社戦が増え、同日とも11対戦(1対戦13分間)に。
	平成11年 平成16年 平成17年 平成18年 平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成28年	1999年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2016年	旧遷喬尋常小学校校舎が重要文化財に指定される。 「久世だんじり保存会」解散。 新組織「久世祭りだんじり保存会」発足。 NHK・BS2チャンネル「おーいニッポン私の好きな岡山県」生中継に8社出演。 「久世だんじり振興会」発足。NPO法人認証を受ける。 NPO法人主催の「久世だんじりふれあい祭り」に6社参加。 西観社新調。 RSK(BS-TBS)「ダイドードリンコスペシャル日本の祭り」で久世祭りが紹介される。 東明社新調。 「大相撲真庭場所(旧遷喬尋常小学校)」に朝陽社が出演。 真庭市新庁舎に移転。 NPO法人主催 第1回「くせ祭りPHOTOギャラリー展」開催。会場:中町「風曜日」 NPO法人主催 第1回「久世祭り写真コンテスト」開催。		本祭り五社祝詞が旧遷喬尋常小学校に移り10社だんじり参加。平成12-15年は各社参集。 本祭り五社祝詞に10社だんじり参加。 裏祭り、だんじり御祭礼巡行途中の喧嘩場で「子供連による菓子撒き」を行う。 本祭り五社祝詞のアンコール戦(西観社対泉朝社)実施。 本祭り12対戦、裏祭り15対戦(1対戦13分間)に。本祭り12対戦目はアンコール戦とし、平成21年は未実施。 本祭り12対戦、裏祭り15対戦(1対戦13分間)に。本祭り12対戦目のアンコール戦は未実施。 本祭り13対戦、裏祭り15対戦(1対戦13分間)に。 喧嘩場整備。(提灯・提灯用電気設備・備前など) 喧嘩場観客ロープ用支柱新設。		
	令和元年 令和2年 令和3年 令和4年 令和5年	2019年 2020年 2021年 2022年 2023年	NPO法人「だんじり、そして地車」若林公平著20冊を真庭市へ寄贈。 新型コロナウイルス感染に伴い、「久世祭り」を自粛。 新型コロナウイルス感染に伴い、「御祭礼」「だんじり喧嘩」など主要行事を自粛。 3年振りに「だんじり喧嘩」復活。 4年振りに「久世祭り」通常開催。 惣八幡神社不参加。 麗新社参加最終年度。				